

学校経営の方針

目指す学校像

地域とともに歩み、地域で育ち、地域に必要とされるゆり支援学校

【 目指す子ども像 】

1 教育目標

児童生徒一人一人の生命及び人権を尊び、障害の特性や状態、発達段階に応じた適切な教育を行い、その可能性を最大限に追求して自立と社会参加を目指すとともに、明るく豊かな心をもった人間を育成する。



2 経営の基本方針

- (1) 自立と社会参加を目指し、地域で豊かに生きる力を育成する。
 - ・キャリア教育全体計画を根底に据えた小中高の一貫教育の実践
 - ・個々の児童生徒の教育的ニーズを踏まえた組織的な指導と保護者や関係機関との連携
- (2) 教職員の協働により、質の高い教育を創造する。
 - ・切磋琢磨し、特別支援教育の専門性を互いに高め合う教師集団
 - ・授業のねらいを明確にし、評価、改善を積み重ねる授業実践
- (3) コミュニティ・スクールの活動を通し、教育課程の充実を図る。
 - ・積極的な地域・学校との交流や発信による障害理解の推進
 - ・学校運営協議会委員と協働した教育課程の改善・充実

3 重点事項

- (1) 児童生徒が自立する力を育むための教育課程の改善
 - ・職業教育を核とし、学びの連続性を重視した教育課程の改善
 - ・知的障害、発達障害に対応した自立活動の整理と共通理解
 - ・児童生徒の自己指導能力の獲得を支える生徒指導の実践上の視点（自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成）を生かした学級経営による学習の基盤づくり
 - ・個々への指導を支える校内協力体制の確立
- (2) 地域との連携による社会参加の基盤づくり
 - ・共生社会の基盤づくりを目指した障害理解学習の拡充
 - ・地域の生涯学習団体等との連携による児童生徒の居場所づくり
 - ・地域との連携による福祉避難所としての機能の充実及び児童生徒の防災意識の醸成
- (3) 地域等の様々な資源を生かした教育活動の充実
 - ・寄宿舎の機能を生かした多様な生活体験等による生活する力の育成
 - ・地域の人材や資源を取り入れた多様な教育活動の展開